

[前画面へ戻る](#)

科目名	特別講義D
科目名(英訳)	Special Lecture D
科目ナンバー	BS339A07
詳細情報	授業外学修時間: 週4時間
担当者 (非)は非常勤講師	威知 謙豪
単位数	2
開講学年	3年
開講セメスター	秋期毎週
対象学科 選択・必修	必修: 選択: BS
他学科受講	
履修順序・履修情報	
担当者及び時間割	
カリキュラムの中での位置付け ／DP(ディプロマ・ポリシー)	経営、情報、会計、経済、法律の各分野の専門科目で取り上げられなかった最新のテーマや時事的なテーマなど通常のカリキュラムの学びより深める発展科目である。本科目は主に経営分野のトピックについて扱う。 【ディプロマ・ポリシー(DP)】2024年度入学生以降対象 ①: ○ ②: ○ ③: ○
身につく基礎力 / 身につく汎用力	調査・情報収集力 クリティカル思考力 / 専門的知識・技能 思考力 学び続ける能力

授業の主旨 (概要)	連結会計の応用的な論点の1つに特別目的事業体の連結範囲の決定基準がある。特別目的事業体は通常、資産の証券化と呼ばれる取引を実施するための組成される。本講義では、資産の証券化取引の内容を確認した上で、特別目的事業体の連結に関する米国会計基準、国際財務報告基準、わが国会計基準の考え方について学習する。	
具体的 達成目標	資産の証券化取引についての基本的な理解し、米国会計基準、国際財務報告基準、わが国会計基準の各会計基準設定主体が特別目的事業体の連結範囲の決定基準の設定・改訂にあたって長い期間を必要とした根拠やその背景について理解することで、連結範囲の決定にあたっての応用力を身に付けることができる。	
	1	【内容】 証券化取引の意義と目的 【授業外学習】 指定テキスト第1章をおよび配布資料復習すること。
	2	【内容】 特別目的事業体の連結会計基準に関する論点整理 【授業外学習】 指定テキスト第2章および配布資料を復習すること。
	3	【内容】 米国会計基準における特別目的事業体の連結会計基準の形成(1)エンロン社破綻以前の指針とエンロン社破綻について 【授業外学習】 指定テキスト第3章第1節～第3節、第4節1.および配布資料を復習すること。
	4	【内容】 米国会計基準における特別目的事業体の連結会計基準の形成(2)FIN第46号変動持分事業体の連結 【授業外学習】 指定テキスト第3章第4節2.～4.および配布資料を復習すること。
	5	【内容】 米国会計基準における特別目的事業体の連結会計基準の形成(4)適格特別目的事業体の連結除外規定 【授業外学習】 指定テキスト第3章第5節および配布資料を復習すること。
	6	【内容】 国際会計基準における特別目的事業体の連結会計基準の形成(1)解釈指針書第12号の考え方

授業計画	7	【授業外学習】	指定テキスト第4章第1節～2節および配布資料を復習すること。			
		【内容】	国際会計基準における特別目的事業体の連結会計基準の形成(2)IASBによる再検討			
	8	【授業外学習】	指定テキスト第4章第3節～4節および配布資料を復習すること。			
		【内容】	わが国会計基準における特別目的事業体の連結会計基準の形成(1)例外規定の考え方			
	9	【授業外学習】	指定テキスト第5章第1節～2節および配布資料を復習すること。			
		【内容】	わが国会計基準における特別目的事業体の連結会計基準の形成(2)例外規定を満たさない特別目的事業体の連結会計基準の考え方			
	10	【授業外学習】	指定テキスト第5章第3節～第4節および配布資料を復習すること。			
		【内容】	世界金融危機と米国会計における特別目的事業体の連結会計基準の見直し			
	11	【授業外学習】	指定テキスト第7章第1節および配布資料を復習すること。			
		【内容】	世界金融危機と国際財務報告基準、わが国会計基準における特別目的事業体の連結会計基準の見直し			
	12	【授業外学習】	指定テキスト第7章第2節～4節および配布資料を復習すること。			
		【内容】	特別目的事業体の連結会計基準の国際比較と今後の方向性			
	13	【授業外学習】	指定テキスト第8章および配布資料を復習すること。			
		【内容】	わが国のエネルギーテック関連企業における特別目的事業体を用いた取引の会計問題(1)問題の発覚に至る経緯とスキームの内容			
	14	【授業外学習】	配布資料を復習すること。			
		【内容】	わが国のエネルギーテック関連企業における特別目的事業体を用いた取引の会計問題(2)SPCスキームの動機、機会、正当化			
	15	【授業外学習】	配布資料を復習すること。			
		【内容】	各回の講義内容のまとめ			
	15	【授業外学習】	指定テキスト第1章～第8章および配布資料を復習すること。			
【内容】						
授業方法	指定テキストに基づいて講義する。講義中に実施するテストについては講義中に回答・解説を実施し、個別の問い合わせに対してはその都度回答する。					
成績の評価方法	講義中に実施するテストにより評価する。					
成績の評価基準	講義中に実施するテスト(40点×1回と60点×1回)により評価し、90～100点はS評価、80～89点はA評価、70～79点はB評価、60～69点はC評価、59点以下はE評価とする。					
教科書	No	書籍名	著者名	出版社	価格	ISBN/ISSN
	1.	『特別目的事業体と連結会計基準』	威知謙豪	同文館出版	3850	978-4495201418
参考文献	No	書籍名	著者名	出版社	価格	ISBN/ISSN
	1.	『金融資産の認識中止に関する会計基準 ―設定根拠と変化の経路―』	威知謙豪	同文館出版	4840	978-4495210533
備考						
関連ホームページ						
メールアドレス	威知 謙豪 takechi@fsc.chubu.ac.jp					
オフィスアワー						